

安全対策課

2-1-14 (決算書 122 ページ)

○環境浄化対策事業

1 環境浄化審議会 コロナ変更

環境浄化特別推進地区の指定に関する事項、旅館業者の責務等に関する条例が規定する勧告に関する事項、勧誘行為等適正化特定地区の指定に関する事項及びその他市長が必要と認める事項について、市長の諮問に応じ、調査し、及び審議する。

開催日	会議内容
R3. 1. 29	※中止

※新型コロナウイルス感染症への対応のため。

— 武蔵野市環境浄化に関する条例 —
— 武蔵野市環境浄化に関する条例施行規則 —

2 旅館業者との協議

旅館業施設の周辺における良好な生活環境を保持するため、旅館業者が建築等を行う際に、標識の掲出、説明会の開催等について協議する。

年度	元 (31)	2
新たに建築または営業開始された対象施設数	1	—

— 武蔵野市旅館業者の責務等に関する条例 —
— 武蔵野市旅館業者の責務等に関する条例施行規則 —

3 飲食店講習会 コロナ変更

市内で飲食店を営業する事業者を対象に火災予防、食品衛生及び暴力団排除等についての講習会を武蔵野警察署との共催により実施する。

開催日	—
対象	市内で飲食店を営業する事業者及びその従業員等
内容	※中止
参加人数(人)	—

※新型コロナウイルス感染症への対応のため。

— 武蔵野市環境浄化に関する条例 —

4 環境浄化特別推進地区道路清掃

環境浄化特別推進地区内の道路清掃を実施した（日曜、祝日及び1月2日、3日を除く毎日実施）。

— 武蔵野市環境浄化に関する条例 —

5 環境浄化特別推進地区における商業活動活性化事業補助

環境浄化特別推進地区における健全な商業活動を推進するための事業に要する経費の一部を補助することにより、推進地区の善良な環境を維持し、及び環境浄化を推進した。

補助団体数	補助対象経費	補助金交付額 (円)
1	街路灯の電気料金	8,000

— 武蔵野市環境浄化に関する条例 —
— 武蔵野市環境浄化特別推進地区における商業活動活性化事業補助金交付要綱 —

6 吉祥寺駅周辺における街頭防犯カメラの運用

吉祥寺駅周辺で14台の街頭防犯カメラを運用し、犯罪抑止を図っている。

設置場所	台数	運用開始年月 (台)
環境浄化特別推進地区	8	S53.4 (3)
		H12.4 (1)
		H24.3 (4)
勧誘行為等適正化特定地区 (一部)	6	H24.3 (6)

— 武蔵野市防犯カメラの管理及び運用に関する規則 —
— 武蔵野市街頭防犯カメラ設置基準 —
— 環境浄化特別推進地区における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱 —
— 武蔵野市勧誘行為等適正化特定地区における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱 —

7 吉祥寺地区盛り場総合対策 コロナ変更

吉祥寺地区の環境浄化推進のため、武蔵野警察署、吉祥寺商店会パトロール隊、ブルーキャップ等と合同で夜間パトロールを実施した。実施回数5回、延べ参加者81名。

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、実施回数を減らして実施。

— 武蔵野市環境浄化に関する条例 —

安全対策課

8 歳末特別環境浄化推進パトロール **コロナ変更**

吉祥寺地区の安全・安心なまちづくり及び環境浄化を推進するため、市民や関係機関とともにパトロールを実施した。

実施日	R2.12.24
場所	環境浄化特別推進地区及び吉祥寺駅周辺
参加団体	武蔵野警察署、防犯協会、母の会、市民安全パトロール隊、自主防犯組織、吉祥寺活性化協議会、吉祥寺東部地区街づくり協議会等
参加人数(人)	67

※新型コロナウイルス感染症への対応のため、規模を縮小して実施。

－武蔵野市環境浄化に関する条例－

○生活安全対策事業

1 武蔵野市生活安全会議

生活安全計画の策定及び市民生活の安全確保のための施策に関して、市長を会長として委員である関係機関の長と協議した。

開催日	会議内容	出席者
R3.3.24	令和3年度生活安全計画について	武蔵野警察署長、武蔵野消防署長、多摩府中保健所長、消防団長

－武蔵野市生活安全条例－

－武蔵野市生活安全条例施行規則－

2 武蔵野市生活安全対策推進協議会

生活安全計画の推進を図るため、関係機関及び市民団体等が活動内容や協力体制等を協議した。

開催日	協議内容	出席者数(人)
R2.8.31	・令和2年度武蔵野市生活安全計画の説明 ・関係機関・団体の活動状況報告と意見交換	26

－武蔵野市生活安全条例－

－武蔵野市生活安全条例施行規則－

3 武蔵野市市民安全大会 **コロナ変更**

市民の安全・安心への意識の高揚を図るとともに、市民、関係機関・団体、市が一丸となって市内の安全対策に取り組むため、大会を開催する。

開催日	開催内容	参加人数(人)
R2.6.27	※中止	－

※新型コロナウイルス感染症への対応のため。

－武蔵野市生活安全条例－

4 青色防犯パトロール(ホワイトイーグル)

青色回転灯車両3台で、学校や子ども施設を中心に立ち寄り警戒139施設、周辺警戒121か所の巡回を実施した。また、隊員による児童へのセーフティ教室を4回開催した。(延べ参加者数226名)

－武蔵野市生活安全条例－

－武蔵野市青色防犯パトロール隊設置要綱－

5 武蔵野市市民安全パトロール隊

地域の方々の防犯活動の一環として、子どもたちを見守る市民安全パトロール隊(平成16年10月26日運用開始)が、登下校時及び学童クラブ等からの帰宅時間帯を中心に見守り活動、パトロールを実施した。また、市民安全パトロール隊委員会を毎月開催し、各地区の隊長・副隊長、市、警察等による情報交換を行った。隊員数64名、延べパトロール回数2,703回。

－武蔵野市生活安全条例－

－武蔵野市市民安全パトロール隊設置要綱－

－武蔵野市市民安全パトロール隊委員会設置要綱－

6 つきまとい勧誘行為等に対する指導(ブルーキャップ)

勧誘行為等適正化特定地区において、つきまとい勧誘行為及び路上宣伝行為等に対する指導・警告等を実施した。

(件)

項目	28	29	30	元(31)	2
つきまとい勧誘行為に対する指導	10	11	29	17	6
つきまとい勧誘行為に対する警告	－	3	20	13	13
つきまとい勧誘行為に対する勧告	－	－	－	－	1
つきまとい勧誘行為に対する氏名等の公表	－	－	－	－	－
路上宣伝行為に対する注意等	786	571	646	376	68

－武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例－

安全対策課

－武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例施行規則－

7 吉祥寺ミッドナイトパトロール

吉祥寺駅周辺の深夜時間帯の安全・安心の向上のため、毎日午後11時から翌朝7時まで、駅周辺の半径500メートル以内を徒歩及び自転車にてパトロールを実施した。

－武蔵野市生活安全条例－

8 特殊詐欺対策

特殊詐欺被害防止の啓発・注意喚起のため、むさしの防災・安全メールの配信（165件）、ホワイトイーグル車両の拡声器を利用した注意喚起放送等を実施した。

－武蔵野市生活安全条例－

9 自動通話録音機の貸与

特殊詐欺被害の防止のため、65歳以上の市民を対象として自動通話録音機の無料貸出しを実施した。

年度	28	29	30	元(31)	2
貸出し台数(台)	80	175	200	340	229

－武蔵野市自動通話録音機貸与事業実施要綱－

10 自主防犯組織等との連携 コロナ変更

地域の自主防犯組織と連携し、防犯活動を実施する。

開催日	活動名称	活動内容	参加団体数
R3.2.13	防犯研修	※中止	—

※新型コロナウイルス感染症への対応のため。

－武蔵野市生活安全条例－

11 武蔵野市ながら見守り連携事業に関する協定締結

地域に密着した事業者の協力を得て、市民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、平成27年10月23日に日本郵便株式会社武蔵野郵便局、平成28年4月14日に多摩武蔵野しんきん協議会と協定を締結した。

－武蔵野市生活安全条例－

12 建築主に対する指導

市内に戸数15戸以上の共同住宅などの建物を建築しようとする者に対し、当該建物における犯罪を予防するため、必要な設備の設置に関して武蔵野警察署長と協議するよう指導した。

年度	28	29	30	元(31)	2
指導件数(件)	32	31	29	17	17

－武蔵野市生活安全条例－

－武蔵野市生活安全条例施行規則－

13 武蔵野市暴力団排除条例

都内でも有数の繁華街を抱える本市において、市の現状を踏まえた実効性の高い対策が必要なことから、本市の暴力団に対する強い姿勢を明らかにし、市や市民、事業者の責務等を明示した「武蔵野市暴力団排除条例」を平成25年4月に制定した。東京都及び市の条例に基づいて市民、事業者、警察等の行政機関との協働により、安全・安心のまちづくりを推進する。

－武蔵野市暴力団排除条例－

14 防犯カメラ等の整備及び維持管理に対する補助

商店街及び地域団体が設置する防犯カメラ等の整備、保守点検及び修繕に係る費用の一部を補助する。

(1) 防犯カメラ等の整備費用の補助

年度	28	29	30	元(31)	2
補助団体数(設置台数)	1(2)	—	1(8)	1(6)	5(30)
補助金額(円)	432,000	—	2,948,000	2,252,000	5,500,000

－武蔵野市防犯設備の整備に対する補助金交付要綱－

－武蔵野市地域見守り活動における防犯設備整備事業補助金交付要綱－

(2) 防犯カメラの維持管理費用の補助(保守点検・修繕)

年度	2
補助団体数	4
補助金額(円)	157,000

※令和2年度から補助開始。

－武蔵野市防犯カメラ維持管理経費補助金交付要綱－

安全対策課

○危機管理対策事業

1 新型コロナウイルス感染症対策本部 **コロナ新規**

「武蔵野市新型インフルエンザ等対策行動計画(平成27年)」に基づく対策本部を設置し、全庁体制で対策に取り組む。

年度	開催数(回)	主な会議内容
元(31)	16	・新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について
2	54	・新型コロナウイルス感染症に対する市の対応について ・新型コロナウイルスワクチン接種推進本部会議の設置について

※開催数は、緊急対策本部会議、運営部会会議等を含む。

※緊急事態宣言発出時は、新型インフルエンザ等対策特別措置法第34条第1項に規定する対策本部へ移行した。

－武蔵野市新型インフルエンザ等対策本部条例－
－武蔵野市新型インフルエンザ等対策本部条例施行規則－

2 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援窓口 **コロナ新規**

新型コロナウイルス感染症の陽性反応者の急増により、自宅療養を余儀なくされている市民が増えたことから、自宅療養者支援窓口を設置し、必要な支援を実施した。(令和3年2月1日設置)

支援内容	実績
生活相談・その他の相談(件)	1
食料品の支援(人)	16

3 接待を伴う飲食店の従業員を対象としたPCR検査の実施 **コロナ新規**

繁華街における重点的な感染拡大防止対策として、市内の接待を伴う飲食店に対するPCR検査を行った。申込み件数156件。

4 市内の感染者数の公表・更新 **コロナ新規**

東京都による新型コロナウイルスの感染者数の公表を受け、市ホームページに感染者数を掲載し、毎日更新した(土・日・祝日を除く)。

5 市民や来街者への啓発 **コロナ新規**

市民や来街者に対し、外出自粛や感染防止の注意喚起を実施する。

対応の名称	対応の内容(概要)	実施日、期間
防災・安全メールの配信	緊急事態宣言や感染防止の注意喚起について、メールの配信を行った。(17回)	通年
横断幕の作成、設置及び撤去	鉄道3駅周辺や商店街等に、外出自粛や感染防止の注意喚起についての横断幕を作成、設置するとともに交換を行った。	R2.4.15～
商店街での放送、車外放送の実施	吉祥寺駅周辺の商店街及びホワイトイーグルの車外放送にて、外出自粛や感染防止の注意喚起についての放送を実施した。	R2.4.23～
市民への外出自粛の呼び掛け	吉祥寺駅周辺において、市職員等により、市民への外出自粛の呼び掛けを実施した。(全12回)	R2.4.17～5.6 R3.1.27 R3.2.10

6 感染症対策用衛生用品の配布と備蓄 **コロナ新規**

全国的なマスク・手指消毒液の不足により、これらの感染症対策用衛生用品の入手が困難になったことから、当初備蓄を庁内窓口用に配布するとともに、感染拡大に備えて新たに備蓄を行った。

7 危機管理訓練 **コロナ変更**

不発弾処理対策に関する危機管理訓練を実施する。

実施日	－
参加者	－
内容	※中止
参加人数(人)	－

※新型コロナウイルス感染症への対応のため。

8 AED有効活用推進事業

平成20年12月22日に東京武蔵野ライオンズクラブから4台のAED寄贈を受けたことから、市内の24時間営業のコンビニエンスストアに設置している。また、緊急時に自己所有AEDの貸出しを行う協力事業者を募集し、市ホームページで公開している。(121事業所が登録済み)

－武蔵野市生活安全条例－

9 熱中症注意情報・警戒アラート情報の発信

熱中症の危険性が高くなる暑熱環境が予測される場合に情報発信を行うことで、市民等に広く注意喚起した。

項目	発信基準	発信内容	発信回数(回)
熱中症注意情報	暑さ指数31度以上	防災・安全メール、市公式SNS	21
熱中症警戒アラート	暑さ指数33度以上	防災・安全メール、市公式SNS、市公式ホームページ、ホワイトイーグルによる車外放送、関係団体等への連絡	15

防災課

防災課

2-1-14 (決算書 122 ページ)

○危機管理対策事業

1 危機管理訓練 コロナ変更

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)により、危機管理訓練を実施した。

実施日	訓練名	参加者及び人数	訓練内容
R3.2.12	テロ対策合同訓練	武蔵野警察署、武蔵野消防署、 防災安全部職員、他見学者 30名	新型コロナウイルス感染症への対応のため、規模を縮小した上で、図上訓練と展示訓練を実施した。 【図上訓練】 「テロ発生～被害状況把握」、「混乱防止～救護活動」、「犯人制圧～平常時への移行」という3つのシーンに応じた対応を各機関から発表し、意見交換を実施した。 【展示訓練】 犯人制圧のシーンについて、実際に警備犬が仮想犯人を捕らえる訓練を実施した。

－武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)－

2 全国瞬時警報システム(Jアラート)

Jアラートとは、弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波警報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を携帯電話等に配信される緊急速報メール、市町村防災行政無線等により、国から住民まで瞬時に伝達するシステムである。本市では平成23年3月末に整備を完了し、同年4月1日から運用を開始した。令和2年度は、8月5日、10月7日、2月17日の3回、防災行政無線屋外拡声器を使用し、Jアラート全国一斉自動放送試験を実施した。

－武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)－

9-1-1 (決算書 230 ページ)

○常備消防費

1 消防事務委託

常備消防を東京都に委託する。

(1) 消防事務委託経費の推移

(単位：千円)

年度	区分	委託費	前年度比較
28		1,610,902	40,525
29		1,602,159	△8,743
30		1,595,865	△6,294
元(31)		1,590,722	△5,143
2		1,600,260	9,538

(2) 委託消防力の現況

① 消防職員数

(人)

区分	職 員 数							
	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	主事
本署	1	3	13	26	32	29	3	107
武蔵境	—	—	1	10	10	17	—	38
吉祥寺	—	—	1	10	9	18	—	38
計	1	3	15	46	51	64	3	183

防災課

②消防自動車数 (台)

区分 署所別	種 別										
	ポンプ車	梯子車	化学車	救急車	査察広報車	指揮隊車	災害多目的車	救助車	非常用ポンプ車	非常用救急車	計
本 署	1	1	—	1	3	1	1	1	2	1	12
武蔵境	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	3
吉祥寺	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	3
計	4	1	1	3	3	1	1	1	2	1	18

(3)火災発生状況

①火災発生及び損害件数

火災件数(件)	建 物				車 両	その他
	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や		
34	3	1	1	20	2	7
焼失床面積 (㎡)	損害見積額(千円)	罹災世帯(世帯)	罹災人員(人)	死 者(人)	負傷者(人)	
546	43,156	47	67	2	3	

②火災原因別件数

(件)

原因別	放 火・ 放火疑い	電気機器 ・ 配 線	たばこ	ガス器具	火遊び	たき火	その他	計
件 数	3	13	9	3	—	—	6	34

③月別火災発生状況

月 別	火災発生件数 (件)	焼失面積 (㎡)	主 な 火 災 現 場
4	3	—	
5	3	60	5/23 境南町
6	4	1	6/17 吉祥寺本町
7	—	—	
8	2	—	
9	3	—	
10	2	—	
11	7	—	
12	3	241	12/20 桜堤
1	1	133	1/7 吉祥寺南町
2	4	111	2/22 吉祥寺本町
3	2	—	
計	34	546	

防災課

④町別火災発生件数

(件)

町別	吉祥寺東町	吉祥寺南町	吉祥寺本町	吉祥寺北町	御殿山	中町	西久保	緑町	関前	八幡町	境	境南町	桜堤	計
件数	—	12	8	2	—	1	2	—	3	—	1	4	1	34

⑤武蔵野市内救急隊出場状況及び救護人員

種別 月別	事故 件数 (件)	収容 人員 (人)	事 故 等 の 内 訳									
			交通事故		急 病 人		火災負傷		一般怪我		その他	
			事故 件数 (件)	収容 人員 (人)								
4	510	445	19	18	342	301	2	—	93	85	54	41
5	465	400	23	17	301	257	4	1	79	71	58	54
6	544	470	34	29	319	282	5	1	103	91	83	67
7	607	533	33	29	343	306	1	—	128	111	102	87
8	709	606	41	36	403	338	4	—	169	156	92	76
9	609	532	32	26	378	336	2	—	125	105	72	65
10	636	561	32	27	392	348	1	—	115	108	96	78
11	608	526	37	32	354	308	3	—	119	109	95	77
12	673	580	30	24	415	362	7	—	143	124	78	70
1	595	496	32	28	347	281	3	1	118	107	95	79
2	563	475	23	21	342	284	3	—	107	92	88	78
3	624	545	26	25	392	335	—	—	107	98	99	87
計	7,143	6,169	362	312	4,328	3,738	35	3	1,406	1,257	1,012	859

—消防法—

9-1-2 (決算書 232 ページ)

○非常備消防費

1 消防団 コロナ変更

消防団は、災害時には消防署と連携して延焼阻止や救助救出活動等に従事し、平常時は地域住民に対し初期消火や応急救護等について技術的な訓練指導を行うなど、地域防災の中核として重要な役割を担っている。

(1)組織

①本部

(人)

団 長	副団長	分団長	班 長	団 員	計
1	3	6	1	7	18

②分団

(人)

分団数	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
10 個分団	10	10	19	39	144	222

防災課

(2) 消防団行事及び訓練演習

実施日	行事及び訓練演習	場 所
6/21	放水訓練（本部・6個分団）	武蔵野市役所
11/9～15	秋の火災予防運動実施（本部・全分団）	市内全域
	〃 市内巡回広報（全分団）	〃
12/26～31	歳末消防特別警戒（全分団巡回広報）	市内全域
12/27	〃 警戒本部巡視（団本部）	各分団詰所
12/30	〃 〃 （市長他）	武蔵野消防署本署・出張所及び各分団詰所
3/1～7	春の火災予防運動実施（本部・全分団）	市内全域
	〃 市内巡回広報（全分団）	〃
3/12	表彰式（本部・全分団）	武蔵野市役所

※新型コロナウイルス感染症の対応として、一部の行事及び訓練演習を中止。

防災課

(3) 消防団員出動状況（火災等）

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外											
本部	回数	-	-	1	1	2	-	-	-	2	-	1	-	1	-	1	-	1	1	1	1	2	-	-	-	15
	延人数	-	-	6	2	7	-	-	-	5	-	5	-	2	-	1	-	7	2	5	2	11	-	-	-	55
1分団	回数	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	5	
	延人数	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	13	-	5	-	-	-	34	
2分団	回数	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	7	
	延人数	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	5	21	-	-	-	49	
3分団	回数	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	7	
	延人数	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	6	3	14	-	-	-	37	
4分団	回数	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	
	延人数	-	-	-	4	15	-	-	-	2	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	39	
5分団	回数	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	1	11
	延人数	-	-	-	7	8	-	-	-	3	-	8	-	6	-	-	-	-	2	5	-	21	-	-	3	63
6分団	回数	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	1	10
	延人数	-	-	10	-	12	-	-	-	14	-	11	-	-	-	-	-	12	-	9	-	24	-	-	8	100
7分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5
	延人数	-	-	7	-	-	-	-	4	-	11	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	6	37
8分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
	延人数	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	31
9分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
	延人数	-	-	16	-	-	-	-	7	-	5	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	46
10分団	回数	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
	延人数	-	-	17	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	38
合計	回数	-	-	6	3	14	-	-	-	8	-	7	-	6	-	1	-	6	2	6	3	13	-	-	3	78
	延人数	-	-	68	13	69	-	-	-	39	-	52	-	33	-	1	-	70	4	44	10	109	-	-	17	529

防災課

(4) 消防団員出動状況 (誤報等)

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
本部	回数	4	—	2	—	1	—	1	1	2	—	1	—	1	—	6	—	7	—	3	—	2	1	—	1	33
	延人数	16	—	11	—	2	—	2	2	6	—	3	—	2	—	16	—	23	—	10	—	6	2	—	2	103
1分団	回数	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—	—	6	—	1	—	1	—	—	—	12
	延人数	8	—	—	—	—	—	—	—	5	—	5	—	7	—	—	—	28	—	4	—	7	—	—	—	64
2分団	回数	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—	—	6	—	1	—	1	—	—	—	12
	延人数	5	—	—	—	—	—	—	—	6	—	5	—	4	—	—	—	25	—	8	—	7	—	—	—	60
3分団	回数	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—	—	2	—	1	—	1	—	—	—	8
	延人数	4	—	—	—	—	—	—	—	7	—	8	—	3	—	—	—	10	—	2	—	4	—	—	—	38
4分団	回数	2	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	—	3	—	1	—	1	—	—	—	11
	延人数	5	—	2	—	—	—	—	—	4	—	—	—	2	—	3	—	7	—	2	—	4	—	—	—	29
5分団	回数	2	—	2	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	3	—	3	—	—	—	1	1	—	—	15
	延人数	9	—	11	—	—	—	—	—	4	—	4	—	2	—	12	—	15	—	—	—	3	2	—	—	62
6分団	回数	2	—	2	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	4	—	5	—	2	—	2	—	—	—	20
	延人数	17	—	15	—	6	—	8	—	10	—	—	—	—	—	37	—	29	—	11	—	14	—	—	—	147
7分団	回数	3	—	2	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	11
	延人数	11	—	13	—	2	—	3	—	6	—	—	—	—	—	6	—	3	—	3	—	—	—	—	—	47
8分団	回数	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3	—	1	—	2	—	1	—	—	—	10
	延人数	14	—	11	—	—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	24	—	8	—	13	—	5	—	—	—	85
9分団	回数	1	—	1	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	2	—	1	—	—	1	12
	延人数	10	—	8	—	13	—	9	8	—	—	—	—	—	—	13	—	9	—	15	—	11	—	—	7	103
10分団	回数	1	—	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	3	—	1	—	2	—	1	—	—	1	12
	延人数	12	—	7	—	—	—	14	6	—	—	—	—	—	—	27	—	10	—	20	—	11	—	—	8	115
合計	回数	19	—	12	—	4	—	6	3	9	—	5	—	6	—	23	—	36	—	16	—	12	2	—	3	156
	延人数	111	—	78	—	23	—	46	16	48	—	25	—	20	—	138	—	167	—	88	—	72	4	—	17	853

防災課

(5) 消防団員出動状況（訓練・警戒等）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	回数	1	—	8	—	—	—	—	—	3	—	—	1	13
	延人数	1	—	63	—	—	—	—	—	15	—	—	10	89
1分団	回数	1	1	2	2	—	—	2	9	8	—	—	9	34
	延人数	19	16	23	24	—	—	35	104	100	—	—	105	426
2分団	回数	2	—	—	—	—	—	—	1	5	1	—	2	11
	延人数	34	—	—	—	—	—	—	5	45	15	—	10	109
3分団	回数	—	—	—	—	—	—	—	1	6	—	—	2	9
	延人数	—	—	—	—	—	—	—	4	45	—	—	6	55
4分団	回数	—	—	1	—	—	—	—	1	5	—	—	4	11
	延人数	—	—	10	—	—	—	—	12	48	—	—	27	97
5分団	回数	—	—	1	1	—	—	3	2	7	—	—	4	18
	延人数	—	—	12	8	—	—	32	14	66	—	—	23	155
6分団	回数	3	—	1	1	—	—	—	4	5	1	—	3	18
	延人数	47	—	14	4	—	—	—	11	57	16	—	23	172
7分団	回数	—	—	—	—	—	—	—	1	5	—	—	3	9
	延人数	—	—	—	—	—	—	—	5	34	—	—	12	51
8分団	回数	—	—	1	—	—	—	1	7	5	—	—	3	17
	延人数	—	—	8	—	—	—	5	44	53	—	—	14	124
9分団	回数	—	—	—	—	—	—	—	5	7	—	—	8	20
	延人数	—	—	—	—	—	—	—	27	55	—	—	37	119
10分団	回数	—	2	9	—	—	1	2	2	7	1	—	3	27
	延人数	—	23	100	—	—	4	21	15	91	1	—	14	269
合計	回数	7	3	23	4	—	1	8	33	63	3	—	42	187
	延人数	101	39	230	36	—	4	93	241	609	32	—	281	1,666

(6) 都三多摩地区消防運営協議会

開催日	内 容	場 所
R2.5.12	東京都三多摩地区消防運営協議会 通常総会	書面開催
R3.1.21	〃 第二部会	書面開催
R3.1.25	〃 第一部会	書面開催

2 出初式 コロナ変更

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対応として、出初式を中止とし表彰式に変更。

開催日 R3.3.12（金）
 場 所 武蔵野市役所
 主な内容 優良消防団表彰（日本消防協会）
 優良消防団表彰（東京都消防協会）
 優良分団表彰（東京都三多摩消防団連絡協議会長）第10分団
 功績分団表彰（東京都三多摩消防団連絡協議会長）第10分団
 優良分団表彰（東京消防庁武蔵野消防署長）第4、9分団
 優良分団表彰（市長）第1、6分団
 消防庁長官表彰 1名
 東京都消防褒章 4名
 永年勤続団員表彰（市長）32名 他

— 消防法 —
 — 武蔵野市消防団に関する条例 —

防災課

9-1-3 (決算書 232 ページ)

○消防施設費

1 消防水利

武蔵野消防署との消防水利の設置等に関する協定に基づき効果的な消防水利の確保に努めている。

(1) 消防水利現況

① 防火水槽

区分 町別	10～20m ³ 未満			20～40m ³ 未満			40～100m ³ 未満			100m ³ 以上			合計		
	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計	公設	私設	計
吉祥寺東町	—	—	—	—	—	—	13	—	13	10	1	11	23	1	24
吉祥寺南町	—	—	—	1	—	1	11	7	18	5	3	8	17	10	27
吉祥寺北町	—	—	—	1	—	1	25	19	44	7	1	8	33	20	53
吉祥寺本町	—	—	—	2	—	2	17	11	28	6	5	11	25	16	41
御殿山	—	—	—	—	—	—	4	2	6	—	1	1	4	3	7
中町	—	—	—	2	1	3	21	23	44	2	7	9	25	31	56
西久保	—	—	—	1	—	1	12	4	16	4	3	7	17	7	24
緑町	—	—	—	—	—	—	8	4	12	6	4	10	14	8	22
八幡町	—	—	—	—	—	—	13	2	15	6	—	6	19	2	21
関前	—	—	—	1	—	1	14	2	16	7	2	9	22	4	26
境	—	—	—	1	—	1	19	19	38	7	5	12	27	24	51
境南町	—	—	—	3	1	4	21	8	29	8	8	16	32	17	49
桜堤	—	—	—	2	—	2	7	10	17	5	4	9	14	14	28
総計	—	—	—	14	2	16	185	111	296	73	44	117	272	157	429

② 消火栓

町別	区分	公設	私設	計	町別	区分	公設	私設	計
吉祥寺南町	110	—	110	関前	78	—	78		
吉祥寺本町	116	—	116	八幡町	35	—	35		
吉祥寺北町	100	3	103	境	106	1	107		
御殿山	26	—	26	境南町	106	2	108		
中町	84	—	84	桜堤	31	—	31		
西久保	66	—	66	計	959	14	973		

③ その他

種別	区分	公設	私設	計	種別	区分	公設	私設	計
40m ³ 以上	—	1	1	—	—	—			
40m ³ 未満	1	—	1	3	—	3			
雨水貯留槽		1	—	1	計	27	7	34	

(2) 消防水利施設整備状況

① 新設 (消火栓)

種別	設置年月	設置場所	規模・種類
消火栓	R2.7.17	緑町2-2	75m/m 地下式単口

② 修理等 (消火栓)

種別	内容	件数(件)
消火栓	取替、消火栓室取替	42

— 消防法 —

防災課

9-1-4 (決算書 234 ページ)

○一般管理経費

1 防災会議

(1) 防災会議開催状況
なし

(2) 委員の任命
 2年度中新規任命 ー
 2年度中新規委嘱 11名
 2年度中異動による補充 ー
 2年度中任期満了による再委嘱 4名

－武蔵野市防災会議条例－

2 災害応急対策活動

令和2年度の活動はなし

3 災害援助

(1) 災害見舞金及び死亡弔慰金支給状況

全 焼 (壊)			半 焼 (壊)		
件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)	件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)
2	3 (-)	90,000	2	1(1)	30,000
火災による水損			床上浸水		
件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)	件数(件)	世帯 (単身)	支給金額(円)
ー	ー	ー	ー	ー	ー
死亡弔慰金					
件数(件)	人数	支給金額(円)			
1	1	100,000			

－武蔵野市災害見舞金等支給条例－

(2) 被災者一時宿泊施設使用状況

宿泊人員	開設日数
4人	21日

4 補助事業

災害に強いまちづくりを推進するため、市民が行う各種の安全対策に対し、補助金を交付している。

(1) ブロック塀等改善補助及び改善資金融資あっ旋(利子補給)制度

対象：市が行った調査(平成14年度)により危険と判断されたブロック塀等の所有者

区分	内 容	1m基準額(円)	申請件数(件)	補助金額(円)
改修	既存のブロック塀を取り壊し、新たにパイプフェンス、ネットフェンス、ブロック塀等に改修する。	16,000円/m	21	5,536,000
補強	既存のブロック塀等の一部を取り壊し、ネットフェンス等に変更する又は、既存のブロック塀等の高さまで控え壁を新設し、補強する。	8,000円/m	5	560,000
撤去	既存のブロック塀等を基礎又は、基礎を残し撤去する。	8,000円/m	13	1,396,000

合計 7,492,000円

－武蔵野市ブロック塀等改善補助金交付要綱－

(2) 災害対策用民間井戸維持管理補助 対象：市内の指定井戸所有(管理)者

一人当たり補助額(円)	補助対象者数(人)	補助金額(円)
9,000	87	783,000

－武蔵野市災害対策用井戸の所有者に対する維持管理補助金交付要綱－

(3) 家庭用消火器等購入補助 対象：市内在住世帯

一世帯当り補助金額(円)	申請件数(件)	補助金額(円)
500	1	500
1,500	12	18,000
2,500	602	1,505,000
計	615	1,523,500

－武蔵野市家庭用消火器など購入補助金交付要綱－

防災課

(4) 武蔵野市民防災協会

市民の防災思想の普及高揚をはじめ、実践的防災行動力の向上を図り、地域社会の安全と福祉の増進に寄与することを目的としている。

主な活動として、地域活動事業（防災推進員による防災タウンウォッチング、地域設置消火器の点検・維持管理、地域への防災啓発活動等）、市民啓発事業（防災キャラバンの実施、市民への防災意識向上のための啓発活動等）、斡旋販売事業（防災用品の普及・販売等）を実施している。

【地域活動事業】

防災推進員人数 100名(R3.3.31) 任期 第15期(R2.10.1~R4.9.30)

推進員の活動実績

(件)

活動項目区分	30	元(31)	2
1. 防災タウンウォッチング	2,312	2,406	2,476
2. コミセンや町会などの推進員としての活動	231	199	81
3. 地域設置消火器の点検活動	2,167	2,237	2,317
4. 支部会議・支部主催行事等	88	55	113
5. 防災推進員の研修・訓練の参加	450	392	161

防災推進員研修等

開催日	会場	内容	参加人数(人)
R2.9.2~R2.10.13	各地域の コミュニティセンター	・新型コロナウイルス感染症流行時の避難行動 ・災害時避難行動要支援者対策 避難支援コーディネーターの役割	92
R2.11.21	市役所会議室	上級救命再講習	13
R2.11.29 R2.12.5	市役所会議室	上級救命新規講習	30

【市民啓発事業】

防災キャラバン 防災用品展示及び販売

開催日	行事内容	会場	参加人数(人)
R2.10.15	さくら防災会研修	サンパァリエ桜堤集会場	56
R2.10.25	吉祥寺北コミセン文化祭	吉祥寺北コミュニティセンター	200
R2.10.25	桜堤コミセン文化祭	桜堤コミュニティセンター	200

防火防災診断

実施日	実施地域	参加者(人)
R3.2.25~R3.3.10	市内全域 82カ所	防災推進員 26 消防署員 86

【斡旋販売事業】

年度	区分	非常食	火災予防	トイレ	地震対策	その他	合計
元(31)	販売点数	2,697	0	291	113	242	3,343
	販売金額(円)	785,660	0	245,460	217,250	217,247	1,465,643
2	販売点数	1,929	30	141	59	182	2,341
	販売金額(円)	781,270	67,200	192,820	72,550	95,319	1,209,159

— 武蔵野市民防災協会運営費補助金交付要綱 —

5 災害対策職員住宅

災害発生時の緊急初動態勢を確保するため、災害対策職員住宅の運用管理を実施した。

住宅名	所在地	種別
北町災害対策職員住宅	吉祥寺北町 1-11-7	世帯住宅 2DK (2戸)
東町災害対策職員住宅	吉祥寺東町 4-9-4	世帯住宅 2LDK (2戸)
		単身者住宅 1K (16戸)
中町災害対策職員住宅	中町 3-5-12	単身・世帯住宅兼用 1DK (8戸)
境南町災害対策職員住宅	境南町 3-16-7	単身・世帯住宅兼用 1DK (9戸)

— 武蔵野市災害対策職員住宅管理規程 —

— 災害発生時の緊急初動態勢に関する規程 —

防災課

○防災訓練事業

1 総合防災訓練 **コロナ変更**

震度6弱以上の大地震の発生を想定し、市、防災関係機関及び地域住民が一体となり発災直後における対応訓練を実施し、初動態勢の強化を図る。

平成28年度末に「地域防災力の充実強化に向けた総合防災訓練の再編」を図り、平成29年度から総合防災訓練を「展示型訓練」を中心として展開することとした。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、内容を変更して、初動支部要員を対象とした避難所運営における感染症対応訓練を実施した。

(1) 避難所運営における感染症対応訓練

(日 時) R2.10.27 13:30～16:30

(場 所) 武蔵野総合体育館(サブアリーナ)

(参加者数) 訓練総参加者数・・・76名

(内訳: 参加職員60名、参加機関2名、市民14名)

(2) 訓練の体系

防護衣等取扱い訓練	フェイスシールド作成訓練、ポリ袋ガウン作成訓練、感染防護衣着脱訓練
受付訓練	発災後、一時集合場所に避難者が集まった時点から、避難者の検温・問診による健康チェックに基づく一般スペース、専用スペースへの振り分け要領等の訓練

(3) 実施機関

市

2 水防訓練・防災ひろば **コロナ変更**

本市では、地下駐車場や地階を伴った商業ビルやマンション等が多く建設されており、集中豪雨等による浸水被害を受けることが予想される。このような都市型の水災害に対応するため各種の水防活動訓練を実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止とした。

(日 時) R2.5.16 9:00～11:00

(場 所) 市立むさしの市民公園

3 はらっぱ防災フェスタむさしの **コロナ変更**

平成26年度から実施している展示・啓発ブース、市民の体験型訓練及び防災機関の活動周知などの普及啓発の部分に特化したイベントを、例年都立武蔵野中央公園との共催で実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため中止とした。

(日 時) R2.8.22 9:30～12:00

(場 所) 武蔵野中央公園

4 防災ボランティア訓練 **コロナ変更**

災害ボランティア活動の拠点である市民文化会館を使用し、災害ボランティアセンター開設・運営訓練をおこなうことで、各機関の役割の再認識と体制の連携を図ることを目的として実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため、災害ボランティアセンター運営訓練は中止とし、初動期通信訓練のみ実施した。

【初動期通信訓練】

(日 時) R3.1.15 13:15～14:15

(場 所) 防災課、市民社会福祉協議会事務室、市民文化会館事務室、国際交流協会事務室

(内 容) 各関係機関に設置しているMCA無線を利用し、災害発生状況の通知や各施設の被害状況確認、災害ボランティアセンター開設指示の伝達等を行い、災害時における情報伝達方法の確認および検証を行った。

(参加機関) 防災課・地域支援課、(社福)武蔵野市民社会福祉協議会、(公財)武蔵野市国際交流協会、(公財)武蔵野文化事業団

5 帰宅困難者対策訓練 **コロナ変更**

東京湾北部を震源とした首都直下地震が発生、市内において最大震度6弱を観測し、鉄道等の公共交通機関が運行を停止し、吉祥寺駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したことを想定し、令和3年3月11日に吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会との共催で訓練を実施する予定だったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため駅周辺での訓練を控え、市役所を中心として、一時滞在施設、公共交通機関との通信訓練を主体として実施した。

(日 時) R3.3.11 14:00～15:00

(場 所) 防災課、公共交通機関、一時滞在施設

(内 容) (1) 仮想現地対策本部設置、運営訓練

(2) 仮想情報ステーション設置、運営訓練

(3) 交通機関、一時滞在施設、仮想現地対策本部間の情報伝達訓練

(4) 帰宅困難者対策班による災害対策本部での情報収集訓練

(参加機関) 吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会(吉祥寺活性化協議会、JR吉祥寺駅、京王電鉄吉祥寺駅、関東バス武蔵野営業所、武蔵野商工会議所、武蔵野公会堂、吉祥寺まちづくり事務所、武蔵野市)、一時滞在施設協定締結事業所

○災害対策用器具機材備蓄品整備

1 地域設置消火器

平成9年度から設置基準を見直し、設置間隔を60mに縮め、空白区域を補強・増設するとともに、保守・管理にあたっている。

防災課

(1) 設置状況

種 別	設置場所	本数(本)	放射距離	放射時間
粉 末	市内各所	1,317	約5メートル	約15秒

(2) 維持修理状況

処理事項	本数(本)
盗難、いたずらによる補充	2
減圧による交換	24
火災使用による交換	1
格納箱の修理・交換	67
一時撤去（移設含）	10
10年経過による交換	3
合計	107

2 食糧備蓄状況

震災時の避難人口を32,000人と想定し、クラッカーやアルファ米などを備蓄している。賞味期限到来まで1年を切った食糧については入れ替えを行い、防災訓練等が行われる際に供出している。

(1) クラッカー

入替数量 23,100食

R3.3.31現在 92,400食

(2) ライスクッキー（クラッカーアレルギー対応、災害時要配慮者用）

入替数量 1,440食

R3.3.31現在 5,760食

(3) パン缶

入替数量 5,040食

R3.3.31現在 20,160食

(4) おかゆ缶（パン缶アレルギー対応、災害時要配慮者用）

入替数量 6,000食

R3.3.31現在 12,000食

(5) アルファ米

入替数量 40,000食

R3.3.31現在 160,000食

(6) 副食（缶詰）

入替数量 48,600食（うちアレルギー疾患用2,700缶）

R3.3.31現在 97,200食（うちアレルギー疾患用5,400缶）

(7) 粉ミルク（災害時要配慮者用）

入替数量 1,077缶（うちアレルギー疾患用105缶）

R3.3.31現在 1,077缶（うちアレルギー疾患用105缶）

3 避難所運営における新型コロナウイルス感染症対策備蓄 コロナ新規

感染症対策を強化するため、20箇所の避難所及び帰宅困難者対策用に感染防護衣、パーテーション、非接触体温計、マスク、ゴム手袋、手指消毒液などを購入、配備した。

品目	数量			
	避難所備蓄用 ※()内は1避難所 あたりの数量	帰宅困難者対策用 ※()内は1一時滞在 施設あたりの数量	市役所備蓄用	合計
感染防護衣	2,240セット (112セット)	—	100セット	2,340セット
パーテーション	400張 (20張)	—	—	400張
非接触体温計 (温度計)	40台 (2台)	44台	—	84台
マスク	224,000枚 (11,200枚)	8,800枚 (400枚)	10,000枚	242,800枚
ゴム手袋	24,000双 (1,200双)	3,300双 (150双)	23,100双	50,400双
腕カバー	12,000組 (600組)	2,200組 (100組)	11,800組	26,000組
靴カバー	12,000組 (600組)	2,200組 (100組)	11,800組	26,000組

防災課

品目	数量			
	避難所備蓄用 ※()内は1避難所 あたりの数量	帰宅困難者対策用 ※()内は1一時滞在 施設あたりの数量	市役所備蓄用	合計
手指消毒液	1,200ℓ (60ℓ)	220ℓ	10ℓ	1,430ℓ
フェイスシールド	2,000枚 (100枚)	660枚	56枚	2,716枚
殺菌剤	60ℓ (3ℓ)	—	—	60ℓ

○防災施設整備事業

1 防災行政無線設備

防災行政無線システムは、市から市民に直接情報を伝達する固定（同報）系無線と、市と市の施設及び防災関係機関相互の情報連絡を確保するための無線の2系統で構成している。平成22年度に地域防災無線（アナログ800MHz帯）から防災用MCA無線へ設備更新し、デジタル化を図った。

令和4年度で現行のアナログ方式の防災行政無線が使用できなくなることから、平成30年度から令和2年度の3年間でデジタル方式への変更を行った。令和2年度は、屋外拡声子局（スピーカー）22台及び屋内戸別受信機78台の整備を実施した。

(1) 固定系設備設置状況

構成	局数(局)	出力
親局	1	1 W
屋外拡声子局	47	
屋内戸別受信機	78	

(2) 防災用MCA無線設備設置状況

構成	局数(局)	出力
陸上移動局	—	2 W
半固定型無線機	141	
携帯型無線機	58	
車載型無線機	1	

2 災害対策用給水設備整備

平成9年度から、災害時の水源確保のため、避難所となる市立小・中学校に井戸の設置を進めてきた。

<設置状況>

H29.3.31 現在 18か所に設置済

3 下水道直結型トイレ整備

平成20年度から、災害時のトイレ確保のため、避難所となる市立小・中学校に設置を進めてきた。

<設置状況>

H29.3.31 現在 18か所に設置済

○防災啓発事業

1 地域防災訓練（共催・後援）

地域住民等による自主的な防災訓練や防災課職員による講話・講演、防災PR用品の配布、炊き出し用器材の貸し出し等、コミュニティセンター、学校、公園などを拠点に計97回行われた。(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
貸出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	3
備蓄品配布	—	—	—	—	2	8	13	13	10	4	9	6	65
訓練	—	—	—	—	—	5	5	5	—	—	4	2	21
講話・講演	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	2	2	6
打合せ・会議	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2
計	—	—	—	—	3	14	19	19	10	4	16	12	97

2 武蔵野市防災情報マップ、防災ハンドブックの作成・配布

防災情報マップ：令和2年3月に作成した武蔵野市防災情報マップを一部修正して、20,000部増刷した。

防災ハンドブック：平成25年に作成した防災ハンドブックに一部修正を加え、8,000部作成した。